



行政事務の効率化を目指して 生成A Iの利用を開始しました



ターゲット 9.1

2024年2月15日

郡山市政策開発部

D X戦略課

課長 二瓶 浩之

TEL：924-2518

SDGs ターゲット 9.1 「公平な経済発展と人間の福祉の支援のため、質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラを開発する。」

本市では少子高齢社会の中、限られた職員数で行政課題に対応するために、業務効率化に取り組んでいるところであります。

この度、文書作成業務のほか多種多様な場面で効率化を図るため、生成A I（※）の利用を2月13日から開始しました。

また、安全かつ効果的に活用できるよう「郡山市生成A I活用ガイドライン」（添付資料）を策定しました。

1 使用する生成A I

- (1) 名称 公務員業務専用ChatGPT「マサルくん」
- (2) 提供元 (一社) デジタル田園都市国家構想応援団
- (3) 特徴 国が発行している各種「白書」や「基本計画」等が追加学習されており、行政情報に基づく高い正確性が期待できます。

2 使用上の留意点

- (1) 個人情報等の機密情報の入力禁止
- (2) 生成物における著作権に対する配慮

3 経緯

- ・ 2023年6月に郡山市役所内、同年9月にこおりやま広域圏内自治体職員のうち、若手・Z世代職員を中心としたワークショップを複数回開催、また先進地視察などの調査研究を重ね、生成A Iの行政における利活用の可能性を模索してきました。
- ・ 業務効率化の事例として、計画等の文書を作成するための章立て、キャッチフレーズ等のアイデア出し、多種多様な課題の発見とその解決方法の立案などにおいて有効であると認められました。

※生成A I…操作者の質問・作業指示等に応じて文書等を生成するA I



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます！！

ひらけ 未来へ こおりやま

郡山市 生成AI活用ガイドライン

Ver.1.0
2024/2/8

業務における生成AIの「利用環境」等について記しています。
これらに変更があった場合は、随時本ガイドラインをアップデートしていきます。

政策開発部
DX戦略課

1 生成AI活用の必要性

人口減少社会・超高齢社会において、限りある職員数で行政需要に対応するためには、デジタルを最大限活用した行政運営が不可欠となります。
職員数が不足し、行政課題に対応できない事態を避けるためにも、生成AIを皆さんのパートナーとし、上手に活用していく必要があります。

デジタルを活用した行財政改革

背景

- ✓ 急激な人口減少社会・超高齢社会
- ✓ 多様化、複雑化する行政需要

手段

デジタルを最大限活用

目的

公共サービスの維持・強化

※タイムパフォーマンス、コストパフォーマンス等の向上

2000年
生産年齢人口 86,380千人

2020年
生産年齢人口
73,408千人
2000年比 $\Delta 15\%$

2040年
生産年齢人口
57,866千人
2000年比 $\Delta 33\%$

2060年
生産年齢人口
44,183千人
2000年比 $\Delta 51\%$

2 活用する生成AI



画像生成

入力内容に応じて、AIが画像を生成する。



テキスト生成

質問を入力することにより、AIが内容を解析し、回答を作成する。



動画生成

入力内容に応じて、AIが動画を生成する。



音声生成

音声データの入力により、特徴を捉え、新たな音声データを生成する。

(1) テキスト生成のAIに限ります。

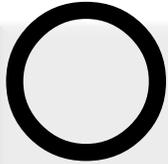
画像、動画、音声の生成AIは、生成物によって、著作権を侵害する恐れを排除することができないため、原則、使用を禁止するものとします。

(2) チャットGPTに限ります。

テキスト生成AIのうち、本市のネットワーク環境の構成及び安全な連携方法が確立できる「チャットGPT」の使用を原則とします。

3 テキスト生成AIで何ができるか

一部の適さない事項を除き、多種多様なシーンでの効果が期待できます。



効果が期待できるものの一例

- ◇ あいさつ文、添書等の案の作成
- ◇ 世代間における文章の言い換えや多言語翻訳
- ◇ 計画等の文書を作成するための章立て
- ◇ キャッチフレーズ等のアイデア出し
- ◇ 多種多様な課題の発見とその解決方法のアドバイス

全ての生成物において、真偽の判定が必要

など 様々なシーンで活用できます。



適さないもの

- ◇ 検索エンジンの活用（偽情報がまぎれる）
- ◇ 業務マニュアルやフローチャートの作成（必要な情報を生成AIが学習していない）
- ◇ 税額の計算等の正確性が高度に求められるもの

4 活用環境について

✓ 直接「チャットGPT」にアクセスはしません。

	2024年2月～	(予定)2024年10月～
サービス	(一社) デジタル田園都市国家構想応援団 公務員業務専用ChatGPT「マサルくん」	サービス検討中
端末機	執務室で使用している業務端末機 ※ スマホからでも使用可能	執務室で使用している貸与端末機
環境	インターネット接続系 (ブラウザ「Chrome」「Edge」のブックマークから ご使用ください。)	LGWAN接続系
特徴	国が発行している各種「白書」や「基本計画」等が 追加学習されており、行政情報に基づく高い正確 性が期待できる。	業務で主に使用するネットワークであるLGWAN接 続系からアクセスできる。

5 アクセス方法について

- I. 業務用端末機で「インターネット接続系」に遷移
- II. 「Chrome」もしくは「Edge」を起動
- III. ブックマークから「マサルくん」にアクセス

公務員業務の専用ChatGPT「マサルくん」

話題のChatGPTに、行政情報を追加学習した「公務員専用ChatGPT マサル」くん。全国210の自治体職員に爆発的に広がり、わずか5ヶ月で、利用回数は12万回に到達しました。日本の行政DXをリードしている自治体と民間企業が構成する「一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団」は、今後とも行政AIの改良を進めていきます。



「マサルくん」を起動する3種類の方法

1. 簡易な方法
このサイトの右下にある緑色のボタンを押して、AIを立ち上げると簡単に使えます。
2. PCを使う方法
あなたがPCの場合、「すぐに利用する」を押すと、GPTが全画面に広がります。
3. スマホを使う方法
あなたがスマホの場合、「すぐに利用する」を押すと、LINE経由で使えます。

利用する (無料)

会員自治体の職員の方は無料で使えます。「自治体等パートナー (無料)」にご登録をいただいでご利用をください。登録者が公表はされる事はありませんが、毎週メルマガが送られてきます。詳細は[こちら](#)

クリック

公務員専用AI マサル

自治体の企画書、挨拶文、議会答弁などのAI

デジタル人材育成に関する議会答弁を書いて

長岡京市の観光を促進するための施策の提案書を書いて

中小企業支援セミナーの企画書を書いて

さいたま市消防団の1月の出初式で、市長としての挨拶文を書いて

自治体の提言書、メール文、議会答弁、あいさつ文などを指示ください

入力し 「▶」 をクリック

6 効果的な活用 –生成AIをのりこなす–

生成AIの回答(文章)はプロンプト(入力)により大きく左右されます。このため、思うような回答(文章)を導くためには、次の手順が必要となります。

① イメージ

生成AIは成果物として文章を生成しますが、これは、プロンプトによって与えられた情報及びインターネット上にある既存の情報を基に整理しているにすぎません。

このため、生成AIを利用する職員はどのような回答(文章)が欲しいのかをしっかりとイメージし、生成AIが有効に回答することができるようプロンプト(入力)によって有用な情報を与える必要があります。

② プロンプト

イメージを基に、プロンプト(入力)を行います。

この場合のポイントは以下のとおりです。

- ・具体的にかつ明確に入力する。
- ・情報は多く与えた方が良い傾向にある。

※ プロンプトの具体例は、2024年度10月頃からの運用を予定しているサービスの開始時期に合わせ提供していく予定です。

③ 評価、再プロンプト(対話)

得られた回答を評価します。

- ・イメージのとおりなのか
 - ・真偽の判定
- これらを踏まえ、必要に応じて再度プロンプトを実行します。
- おそらく、最初の回答よりも良い回答を生成してくれます。

7 実例

実例：（動機・目的）DX郡山推進計画の作成を行うために、計画に記載すべきこととその章立てを整理したい

①イメージ（回答に期待すること）

- ✓ 章立てが回答にあること。
- ✓ 次の2点は重要である。
 - ・ 少子高齢化社会、労働力人口減少の中、業務効率化は不可欠であること。
 - ・ 行政手続きのオンライン化をはじめとする市民サービスの向上が不可欠であること。
- ✓ 国の取り組み等との整合が図られていること。

②プロンプト

郡山市のDX推進計画において、少子高齢化社会による行政サービスの維持や業務効率化、オンライン行政サービスの充実、国や他の自治体との整合性確保が重要ですが、それ以外にも自治体が行うべき具体的な行動があります。自治体がDX推進の上で必要なポイントを教えてください。

③ 評価、再プロンプト(対話)

実際の回答

自治体がDX推進の上で必要なポイントは以下のようなものがあります:

1. ビジョンの設定:DXの具体的な目標や方向性を明確に設定することが重要です。それにより、全体の方針や戦略を明確化し、組織全体が一丸となって取り組むことができます。
2. リーダーシップの確立:DXを推進するためのリーダーシップを確立することが重要です。上層部や経営者がDXの重要性を理解し、積極的に取り組む姿勢を示すことが求められます。
3. 職員の教育・能力向上:DXを実現するためには、職員の能力向上が不可欠です。職員の教育・研修を積極的に行い、最新のテクノロジーやデジタルスキルを習得させることが重要です。
4. データの活用:データはDXの鍵となる要素です。自治体は、データの収集・分析・活用に積極的に取り組む必要があります。データドリブンな意思決定やサービス改善により効果的な行政サービスを提供することが可能となります。
5. インフラストラクチャーの整備:DXを推進するためには、適切なITインフラストラクチャーの整備が必要です。高速なネットワーク環境やセキュリティ対策を行い、オンライン行政サービスを円滑に提供できる環境を整えることが求められます。
6. 協力体制の構築:DXは単独で行うことが難しい場合があります。国や他自治体との協力体制を構築し、情報の共有や規模の経済性を追求することが重要です。連携を図ることで、より効果的なDX推進が可能となります。
7. アジャイルなアプローチ:DXは急速に進化する領域であり、柔軟な対応が求められます。アジャイルなアプローチを取り入れ、小さな改善や実験を通じてDXを進めることで、早期に成果を出すことができます。

これらのポイントに注力することで、自治体はより効果的なDX推進を行い、行政サービスの向上や業務効率化を実現することができます。

評価1

ポイントとその概要が示されたが、章立てになっていない。(概要を得られたことは、想定外であったが、有用である。)

評価2

業務効率化と市民サービスの向上が書かれていない。

評価3

デジタル人材の育成やデータ利活用など、国の施策が反映されている。

以上を踏まえ再プロンプト

③ 評価、再プロンプト（対話）

再プロンプト

以上の7つの項目に、業務効率化と市民サービスの向上の2項目を加え、郡山市のDX推進計画の章立てを作成してください。

実際の回答

<郡山市のDX推進計画>

I. はじめに

- DX(デジタルトランスフォーメーション)とは
- 郡山市におけるDX推進の背景

II. ビジョンの設定

- DX推進の具体的な目標と方向性の設定

III. 業務効率化の推進

A. 行政サービスの効率化

1. 既存業務の見直しと改善
2. プロセスの自動化と効率化
3. システムの導入と連携による効率向上

B. データ駆動型の意思決定

1. データ収集・分析の強化
2. データに基づく優先順位の設定
3. 報告体制の構築と情報共有の促進

IV. 市民サービスの向上

A. オンライン行政サービスの充実

1. ウェブサイトのリニューアルと改善
2. オンラインでの手続きの拡充
3. モバイルアプリの導入と利便性向上

B. 市民参加の促進

1. オンラインでの意見収集とフィードバック
2. 市民向けプラットフォームの提供
3. 市民との協働プロジェクトの推進

V. ITインフラストラクチャーの整備

A. 高速ネットワーク環境の整備

1. 公共施設や行政機関のネットワーク強化

2. 市内のモバイル通信環境の充実

B. セキュリティ対策の強化

1. 安全性を確保するための対策の実施
2. データプライバシーと個人情報保護の徹底

VI. 職員の教育・能力向上

A. DXに関する教育・研修の実施

1. デジタルスキルの習得と情報セキュリティの学習
2. 最新テクノロジーの研究と活用方法の共有

B. 組織の文化と風土の変革

1. DXを推進するための組織改革
2. 情報共有と協働を促進するコミュニケーション活性化

VII. 協体制の構築

A. 国や他自治体との協力

1. 情報共有とベストプラクティスの共有
2. 共同プロジェクトの推進と資源共有

B. 市民との連携と協働

1. 市民との対話を促進するプラットフォームの構築
2. 市民の意見を反映したサービスの設計と提供

VIII. ステップ実施計画

- DX推進のためのステップ実施計画の策定と期日の設定

IX. 結びにかえて

- DX推進による成果と効果の検証と評価
- 郡山市の持続的なDX推進の取り組み

以上が郡山市のDX推進計画の章立て案です。計画の内容や必要な項目に応じて調整してください。

評価

イメージのとおりのできる章立てがなされた。

評価

業務効率化、市民サービスの向上の他、国の計画や社会情勢、需要が盛り込まれた。

評価

DX推進計画を作成するにあたり、十分参考に足るものとなった。

8 ふたつの禁止事項

1 個人情報等の機密事項の入力

生成AIはインターネットを介して利用する、いわゆるWebサービスです。

したがって、「郡山市情報セキュリティ対策基準」により、機密性2以上の情報の取り扱いはできません。

郡山市情報セキュリティ対策基準 抜粋
第107条第2項
サービスの利用にあたっては、機密性2以上の情報を取り扱ってはならない。

※ 機密性2以上とは 対策基準に規定する「機密性2」と「機密性3」を指す。

「機密性2」 行政事務で取り扱う情報資産のうち、秘密文書に相当する機密性は要しないが、直ちに一般に公表することを前提としていない情報資産

「機密性3」 行政事務で取り扱う情報資産のうち、秘密文書に相当する機密性を要する情報資産

2 著作権の侵害

本市の生成AIの利用はテキスト生成に限っているため、動画や画像の生成と比較し、生成物が他の著作権を侵害している恐れは小さいですが、商標名等や言い回しに関する配慮が必要です。このため、以下の2点に留意してください。

- ① 特定の作品や作家等に似せる指示をしないこと
(悪いプロンプト(入力)の例)
「郡山市の歴史を簡単に紹介するストーリーを(作品名)風に書いてください。」
- ② 生成物が既存の著作権に類似していないかの確認
特に、生成物を外部に公開する場合には、確認が必要です。